

# 感 染 制 御 部

## 著 書

- 1 青木洋介：外来治療，入院治療の判断．ガイドライン／ガイダンス 成人市中肺炎 22-26，日本医事新報社．2010．
- 2 青木洋介：感染症．カラーで学べる病理学（渡辺照男編） 77-86，ヌーヴェルヒロカワ．2010．
- 3 永田正喜，青木洋介：結核．感染症診療ガイドライン，34-37，総合医学社．2010．
- 4 福岡麻美，青木洋介：敗血症．薬局（創刊号）病気と薬パーフェクト BOOK 2010，1484-1491，南山堂，東京 2010．

## 原著論文

- 1 永田正喜，青木洋介，福岡麻美，三原由起子，曲淵裕樹，宮本比呂志，草場耕二，永沢善三：ペイズ解析を用いた診断確率定量による MRSA 下気道感染症診断の試み．感染症学雑誌 84．3，276-283，2010．
- 2 戸田知子，末松梨絵，井上久子，小荒田秀一，多田芳史，青木洋介，長澤浩平：サルコイドーシスとの関連が示唆された Mycobacterium nonchromogenicum 皮膚感染症の 1 例．感染症学雑誌 84．3，300-304，2010．
- 3 Aoki Y, Urakami T, Magarifuchi H, Nagasawa Z, Nagata M, Fukuoka K: The importance of pharmacokinetic consultation of cefepime treatment for Pseudomonas aeruginosa bacteremia: a case report of severe thermal burn injury. Journal of Infection and Chemotherapy DOI10.1007/s10156-010-0119-8, 2010.

## 総 説

- 1 青木洋介，永田正喜，曲淵裕樹，福岡麻美：1 日 1 回投与時代の抗菌化学療法 - 理論と展望 - ．日本内科学会誌，99(11)，2715-2720，2010．
- 2 青木洋介，曲淵裕樹，永田正喜，福岡麻美，長澤浩平：インフルエンザの臨床診断とその留意点．日本臨床，68(9)，1631-1635，2010．
- 3 青木洋介，曲淵裕樹，永田正喜，福岡麻美：特集：感染症医育成の現状と課題．基本的臨床力の向上を可能とする感染症診療・教育の開拓．化学療法の領域 26(8)，103-107，2010．
- 4 青木洋介：血液培養陽性／菌種・感受性判明以前の抗菌薬投与について．臨床病理，58，5，498-507，2010．
- 5 青木洋介：レジオネラ感染症のリスクマネジメント 2 - 臨床現場における孤発例と集団感染事例に対する方策．防菌防黴 38(2)，113-119，2010．
- 6 青木洋介：外来診療における抗菌薬の選択と使用のポイント．感染と抗菌薬，13(2)，101-106，2010．
- 7 青木洋介：コレラ，腸炎ビブリオ，サルモネラ，セラチア．インフェクションコントロール，19(7)，57-61，2010．
- 8 福岡麻美，青木洋介：市中獲得型 MRSA 感染症．Modern Physician 30(5)，721-723，2010．
- 9 福岡麻美，曲淵裕樹，三原由起子，青木洋介：組織横断的な感染症診療の意義 - 感染症診療支援はこんなに素敵！ - ．INFECTION CONTROL，19，9，75-80，2010．
- 10 曲淵裕樹，福富由美子，永田正喜，三原由起子，福岡麻美，青木洋介：血液培養採取を増加するための取り組み．医療安全，7(3)，44-47，2010．

(医界佐賀臨床検査一口メモ)

- 11 青木洋介：ネコ咬傷．医界佐賀 1035, 46-47, 2010．
- 12 青木洋介：不明熱患者におけるフェリチン，ALP，血清タンパク分画測定の意義．医界佐賀 1036, 38-39, 2010．
- 13 青木洋介：小児の不明熱．医界佐賀 1037, 56-57, 2010．
- 14 青木洋介：不明熱の鑑別に有用な臨床像．医界佐賀 1038, 60-61, 2010．
- 15 青木洋介：Masquerader．医界佐賀 1039, 52-53, 2010．
- 16 青木洋介：右上葉浸潤影の鑑別．医界佐賀 1040, 17, 2010．
- 17 青木洋介：肺炎の診断アプローチ：一般検査所見，身体所見の重要性．医界佐賀 1041, 49-50, 2010．
- 18 青木洋介：医療スタッフの感染防止策．医界佐賀 1042, 51-52, 2010．
- 19 青木洋介：咽頭炎の鑑別．医界佐賀 1043, 42-43, 2010．
- 20 青木洋介：患者さんの服薬遵守率はどの位？．医界佐賀 1044, 24-25, 2010．
- 21 青木洋介：アシネトバクター．医界佐賀 1045, 43-44, 2010．
- 22 青木洋介：市中耐性菌．医界佐賀 1046, 44-45, 2010．

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 青木洋介，曲淵裕樹，福岡麻美，三原由起子：チャレンジ項目：血液培養採取数を増加するために．第25回日本環境感染学会総会．2010, 2, 5-6．環境感染誌, 25: suppl, p110．
- 2 青木洋介：卒前に知っておきた抗菌薬治療の基礎知識（教育セミナー：レクチャ）．第58回日本化学療法学会総会．2010, 6, 3．日本化学療法学会雑誌 58: suppl., A176．
- 3 青木洋介：感染症診療と化学療法10 Morning reports（教育セミナー）．第58回日本化学療法学会西日本支部学術講演会．2010, 11, 25-26．抄録プログラム p75．
- 4 青木洋介，河野 文，浦上宗治，永沢善三，中野行孝，曲淵裕樹，永田正喜，福岡麻美：薬物動態の解析を交えたMRSA 菌血症治療についての臨床的考察．第58回日本化学療法学会総会．2010, 6, 3．日本化学療法学会雑誌 58, suppl., A337．
- 5 青木洋介，永沢善三，草場耕二，曲淵裕樹，永田正喜，福岡麻美：市中および院内感染症起炎菌の各世代キノロン系薬に対する感受性の比較．第58回日本化学療法学会西日本支部学術講演会．2010, 11, 25-26．抄録プログラム p121．
- 6 浦上宗治，中野行孝，曲淵裕樹，永田正喜，福岡麻美，河野 文，祖川倫太郎，青木洋介：Ceftazidime の PK-PD 解析 5 症例についての臨床的検討．第58回日本化学療法学会総会．2010, 6, 3．日本化学療法学会雑誌 58, suppl., A305．
- 7 大石智洋，村谷哲郎，三鴨廣繁，岡田 淳，水谷 哲，斉藤 厚，柳原克紀，青木洋介，門田淳一，斧 康雄：本邦で分離された *Streptococcus pyogenes* の薬剤感受性．第58回日本化学療法学会総会．2010, 6, 3．日本化学療法学会雑誌 58, suppl., A252．
- 8 萱場広之，青木洋介：院内感染対策の問題と展望．第80回日本細菌学会総会．2010, 3, 26-27．日本細菌学雑誌, 65, 67．
- 9 永田正喜，曲淵裕樹，浦上宗治，河野 文，福岡麻美，青木洋介：関節液の抗菌薬濃度測定が有用であった緑膿菌により人工股関節感染症の一例．第58回日本化学療法学会西日本支部学術講演会．

2010, 11, 25 26. 抄録プログラム p104.

- 10 永田正喜, 村谷哲郎, 福岡麻美, 青木洋介, 松本哲朗, 中浜 力, 朝野和典, 川上小夜子, 岡田 淳, 斧 康雄: 2007年~2009年に分離された *Staphylococcus aureus* の各種抗菌薬に対する感受性(薬剤感受性サーベイランス研究会報告). 第58回日本化学療法学会西日本支部学術講演会. 2010, 11, 25 26. 抄録プログラム p107.
- 11 永沢善三, 福富由美子, 草場耕二, 宇木 望, 杉町光彦, 於保 恵, 曲淵裕樹, 福岡麻美, 青木洋介: 血液培養提出セット数の現状と好・嫌気ボトル併用の意義. 第40回日本嫌気性菌感染症研究会. 2010, 3, 20. 第40回日本嫌気性菌感染症研究会プログラム・講演記録集, P25.
- 12 福岡麻美, 河野 文, 中野行孝, 平野和裕, 浦上宗治, 曲淵裕樹, 永田正喜, 青木洋介: 血中濃度モニタリング(TDM)に基づくトブラマイシン(TOB)の初期投与量設定についての検討. 第58回日本化学療法学会総会. 2010, 6, 3. 日本化学療法学会雑誌 58, suppl., A263.
- 13 福岡麻美: 抗MRSA薬の適応と上手な使い方-症例から考える- グリコペプチド系のよい適応. 第58回日本化学療法学会西日本支部総会. 2010, 11, 26. 抄録集 55(シンポジウム).
- 14 福岡麻美: 呼吸器感染症診療 Pro and Con(シンポジウム) 抗菌薬治療では de-escalation を行う必要はない. 第50回日本呼吸器学会. 2010, 4, 23. 日本呼吸器学会雑誌 48, 8(シンポジウム).
- 15 福岡麻美, 曲淵裕樹, 永田正喜, 草場耕二, 永沢善三, 青木洋介, 長澤浩平: 当院における過去10年間の $\beta$ 溶血性連鎖球菌による菌血症の解析. 第84回日本感染症学会総会学術講演会. 2010, 4, 5 6. 感染症学雑誌, 84(臨時創刊号), 402.
- 16 福富由美子, 宇木 望, 於保 恵, 杉町光彦, 草場耕二, 永沢善三, 中島由佳理, 青木洋介, 宮本比呂志: 各種薬剤耐性菌を用いたマイクロスキャン Rapid Plus シリーズの有用性に関する検討. 第23回臨床微生物迅速診断研究会総会. 2010, 6, 26. 第23回臨床微生物迅速診断研究会総会プログラム・抄録集 P40.
- 17 曲淵裕樹, 草場耕二, 永沢善三, 永田正喜, 福岡麻美, 青木洋介: 佐賀大学病院における院内分離グラム陰性桿菌の薬剤感受性: 抗菌薬使用制限後の検討. 第58回日本化学療法学会総会. 2010, 6, 3. 日本化学療法学会雑誌 58, suppl., A253.
- 18 曲淵裕樹, 永田正喜, 福岡麻美, 草場耕二, 永沢善三, 青木洋介: 血液培養陽性判明時の初期抗菌薬の適正使用に関する臨床研究(ワークショップ). 第84回日本感染症学会総会. 2010, 4, 5 6. 感染症学雑誌, 84(臨時創刊号), 246.

#### 地方規模の学会

- 1 青木洋介: 呼吸器救急疾患と感染症 第85回日本呼吸器学会九州支部学術講演会教育セミナー(共催: 文部科学省・大学病院連携高度医療人養成推進事業). 2010, 11, 12 13. プログラム集 p69.
- 2 青木洋介, 曲淵裕樹, 永田正喜, 福岡麻美, 永沢善三, 長澤浩平: *Acinetobacter mbaumannii* 菌血症の発症背景および予後に関する臨床的検討. 第80回日本感染症学会西日本地方会学術集会. 2010, 11, 19 20. 抄録プログラム p135.
- 3 伊集院正仁, 曲淵裕樹, 永田正喜, 福岡麻美, 草場耕二, 青木洋介: 背部痛と発熱に両下肢麻痺を伴い, 転移性腫瘍との鑑別が困難であった化膿性脊椎炎の一例. 第80回日本感染症学会西日本地方会学術集会. 2010, 11, 19 20. 抄録プログラム p119.
- 4 宇木 望, 福富由美子, 草場耕二, 永沢善三, 南雲文夫, 三原由紀子, 曲淵裕樹, 福岡麻美, 青木洋介, 出原賢治: 臨床研修医を対象とした微生物検査室の取り組みとその成果. 日本医療マネジメ

ント学会，第9回九州・山口連合大会．2010，11，6．日本医療マネジメント学会，第9回九州・山口連合大会プログラム・抄録集，P46 2．

- 5 福岡麻美，曲淵裕樹，永田正喜，草場耕二，永沢善三，青木洋介，長澤浩平：感染症医の組織横断的な診療介入で患者予後は改善するか？ 当院における菌血症の予後の推移．第80回日本感染症学会西日本地方会学術集会．2010，11，19 20．抄録プログラム p141．
- 6 福富由美子，草場耕二，永沢善三，三原由起子，曲淵裕樹，福岡麻美，青木洋介：医療安全マネジメントから見た血液培養検査の現状．日本医療マネジメント学会，第9回佐賀支部学術集会．2010，2，6．日本医療マネジメント学会，9回佐賀支部学術集会抄録集，P23．
- 7 曲淵裕樹，永田正喜，福岡麻美，永沢善三，青木洋介：Aeromonas hydrophila 菌血症を発症した肝硬変，糖尿病患者の一例．第80回日本感染症学会西日本地方会学術集会．2010，11，19 20．抄録プログラム p133．
- 8 柳 優衣，曲淵裕樹，草場耕二，永田正喜，福岡麻美，青木洋介：抗菌薬投与後一旦解熱するも再度発熱し11日間解熱しなかった小児 H. influenzae 髄膜炎の症例．第80回日本感染症学会西日本地方会学術集会．2010，11，19 20．抄録プログラム p122．

#### その他の学会

- 1 青木洋介：血液内科病棟における疥癬の集団感染事例．平成22年度感染対策協議会九州沖縄地区ブロック研修会．2010，7，1，2．
- 2 青木洋介，永田正喜，曲淵裕樹，福岡麻美，三原由起子：MRSA 下気道感染症の定量的診断に関する研究．第1回MRSAフォーラム．2010，7，10．抄録集，p25．
- 3 福富由美子，宇木 望，杉町光彦，於保 恵，草場耕二，永沢善三：血液培養提出セット数の現状と好気・嫌気ボトル併用の意義．第15回佐賀県医学検査会．2010，5，30．

#### 研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
准教授	青木 洋介	科学研究費補助金	基礎研究C	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌による院内肺炎の診断と抗菌薬治療閾値に関する研究	520